

埼玉県平和資料館の充実・発展をめざす学習会

戦後日本の

「国際貢献」を考える

「国際貢献」ということ、自衛隊やPKOばかりが強調されるが、実際には、非軍事的で、多様な「貢献」の方法があるし、実践されている…

●講師 武者小路公秀さん（元国連大学副学長）

埼玉県平和資料館は、この3月になってから突然、3月25日から10月半ばまでの半年にわたる長期休館を発表し、既にリニューアル工事と展示の変更のための作業に入っています。

展示変更の内容については、「戦後日本及び日本人の国際平和貢献」というテーマで「常設展示」にしていくことが発表されています。上田知事は、昨年10月の記者会見で「戦争の悲惨さ、平和の希求、そして平和創造」の展示の例として「PKO活動」をあげています。

しかし、戦後日本の「国際平和貢献」というならば、非戦の日本国憲法を原点として、多くの人々が積み上げてきた軍事によらない多様な平和への努力を示すことが大切ではないでしょうか？ それこそが、「戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える」という平和資料館の使命であり、平和の文化を育み発信する空間としての役割といえるでしょう。

今回は、日本の「国際貢献」の実態・問題点・課題などを学びながら、あるべき展示のイメージを考えたいと思います。

5月14日(火)

午後6時開場、6時30分開会

浦和コミュニティセンター

第15集会室

(浦和駅東口パルコ9階)

資料代 500円

【短信】「埼玉県平和資料館の充実・発展をめざす」県民アピールへの賛同署名は、4月10日時点で3000人分を突破しました。この署名は、9月中旬提出を目途に、引きつづき取り組んでいきます。一回り、二回り幅広くお呼びかけいただけますようお願いいたします。

埼玉県平和資料館の充実・発展を求める県民アピールの会

■連絡先 二橋元長（「平和のための埼玉の戦争展」実行委員会）
石垣敏夫（埼玉県平和資料館を考える会）

電話・FAX 048 (838) 8918
電話・FAX 048 (686) 7398